

悪魔祈禱書

夢野久作

青空文庫

いらつしやいまし。お珍らしい雨で御座いますナアどうも……こうダシヌケに降り出されちや敵かないません。

いつも御鼻ひいき肩になりまして……ま……おかけ下さいまし。一服お付けなすつて……ハハア。傘をお持ちにならなかつた。へへ、どうぞ御ゆつくり……そのうち明るくなりましよう。

どうもコンナにお涼しくなりましてから雷はやしかた鳴入りの夕立なんて可笑おかしな時候で御座いますなあ。まったく……まだ五時だつてえのに電燈でんきを灯つけなくちや物が見えねえなんて……店おほまけ中に妖怪でも出そうで……もつとも古本屋なんて商売は、あんまり明るくちや工合が悪う御座いますナ。西日が一パイに這はい入るような店だと背皮クロスがミンナ離れちやいますからね。へへへ……。

失礼ですが旦那は東京のお方で……ハハア。東京の大学からコチラへ御転任になった。

〇〇科にお勤めになつていらつしやる……成る程。コンナ時候のいい時は大してお忙がしく御座んせんで……へへ。恐れ入りやす。開業医だったら大損で……まったく大学つて処は有り難い処で御座いますなあ。

実は私もコレで東京生れなんです。竜 閑橋つてえ処の猫の額みたいなケチな横町で生れたもんでゲスが、へへへ。これでも若い時分は弁護士になろうてんで、神田の東洋法律学校へ通いまして六法全書なんかをヒネクリまわしていたもんですが、生れ付きのナマクラでね。小説を読んでゴロゴロしたり、女の尻ばかり追いまわしたりして、さっぱりダラシが御座んせん。両親が亡くなりますと一気に、親類には見離される。苦学する程の骨ツ節もなし。法界節の文句通りに仕方がないからネエエ——てんで、月琴を担いで上海にでも渡つて一旗上げようかテナ事で、御存じの美土代町の銀行の石段にアセチレンを付けて、道楽半分に買集めていた探偵小説の本だの教科書の貰い集めだのを並べたのが病み付きで、とうとう古本屋になつちまいましたね。へへへ。その中に嬢が出来たり餓鬼が出来たり何かしてマゴマゴしている中にコンナに頭が禿げちやつちやあモウ取返しが付きやせん。まあまあナマクラ者にや似合い相当のところだけしよう。文句はありませんや。

へエへエ。それあ、この××クンダリへ流れて来るまでにやガラ相当の苦勞も致しやしたよ。途中で古本屋がイヤンなつちやつて、見よう見真似の落語家になったり、間になつたりしましたが、やつぱり皮切りの商売がよろしいようで、人間迷つちや損で御座

いますナ。だんだん呼吸をおぼえて来ると面白い事もチョイチョイ御座いますナ。ヘエ……粗茶で御座いますが一服いかが様で……ドウゾごゆっくり……。

コンナに降りますと、お客様もお見えになりませんな。いつ来て見ても、お客様が一人立つておいでになる古本屋なら、大丈夫立つて行くものです。ですから一人もお客様がお見えにならないと手前が自分でサクラになつてノソノソ降りて行きまして、本棚などを整理致しておりますんで……これがマア商売のコツで御座いますナ。つまりその一人立つている人間が店のおとり囿になるんで……通りかかりの方が店を覗いて御覧になつた時に、誰か一人本棚の前に突立つて本を読むか何か致しておりますとツイ釣り込まれてふらふらと這入つてお出でになる。群衆心理というもので御座いますかな……そのアトから又一人フラフラつと……てな訳で……。イヤどう致しまして……先生にお茶を差上げて囿に使っている訳じゃ御座んせん。ハハハ。コンナ大降りの時にはイクラ囿を使つたつて利き目は御座んせん。ヘヘヘヘ。恐れ入ります。どうぞお構いなく御ゆっくりと……。

ヘエヘエ。それは面白いお話も御座いますよ。ツイこの間の事……高等学校の生徒さんがゲーテの詩集を売りに見えましてね。ほかの参考書や何かと一緒に十冊ばかりを三円で頂戴いたしました、その中でも、ゲーテの詩集が特別に古いようですから、あとでよく

調べてみますとドウです。千七百八十年に^{ドイツ}独逸で出版されたヤツの第一版なんで、おまけにその見返しの処にぬたくっている持^{オーナシグネチヤ}主署名をよく見ますと、どうしてもシルレルとしか読めません。それからコチラの法文科で古書を集めておいでになる中江学^{せんせい}長さんのお宅へ持つて参りましたらドウデス。七十円でお買上げになりましたよ。……何でもそのゲーテの詩集が出ました千七百八十年の夏でしたか秋でしたかに、詩聖のシルレルが、その第一版を買って読んでいる中^{うち}に、

「コンナ下らない詩集なんかモウ読んでやらないぞ」

てんで^{じびた}地面にタタキ付けた。それから又拾い上げて先の方を読んで行くうちに、今度は三拝九拝して涙を流しながら、

「ゲーテ様。あなたは詩の神様です。私は貴方のおみ足の泥を^な嘗めるにも足りない哀れな者です」

とか何とか云つてオデコの上に詩集を押し付けたつてえ話が残っている。それがこの本に違いない。独逸人に持たせたら十万マークでも手放さないだろうテンデ、アトから中江先生が説明して下さいましたがね。お人が悪うがすよ中江先生は……ハハハ。もつとも私^{あつし}もこの本は東京へ持つて行けあ汽車賃ぐらいの事じゃなさそうだ……ぐらいの事はカン付い

ていましたがね。慾をかわいたって仕様が御座んせん。

へエへエ。今度ソナナのが出ましたらイの一番に先生の処へ持ってまいります。大学の
 ○○科で……へエ。助教授室……へエへエ。何卒よろしく御願ひ致します。

へエへエ。法文科の中江先生ですか。よく手前どもの処へお見えになりますよ。古い本
 をお探しになるのが何よりのお楽しみだそうですね。いいお道楽ですよマツタク……古しやう
 本ぼいこん 屋や てもものは元来、眼の見えない者が多いんだが、お前は割合によくわかるから、話
 相手になると仰おっしゃ言やってね……へへへ。手前味噌で恐れ入ります。いつも御指導を願つて
 おります。

御覽の通り手前共では、学生さんが御相手でげすから、横文字の書物なら全部、大きく
 原書と書いた貼札をして同じ棚に並べておきますので……ところがこの間ウツカリ、

CHOHMEY KAMOS HOJOKY

つて書いた奴を、何だかよく判らないでパラパラと見たまんまに原書つて書いた札を
 デカデカと貼つて二円の符牒を付けておきましたら、中江先生がソイツを棚の中から引つ
 こ抜いてお出でになって、私の鼻の先に突付けて、お叱りになったものです。

「しつかりしてくれなくちゃ困る」

てえ御立腹なんで……成る程、よく読んでみますと鴨の長明の方丈記の英訳なんで。ハツハツハツ。ドツチが原書なんだか訳わけがわかりませんや。まったく恐れ入りましたよ。方丈記の英訳の中でも一番古いものだからと仰言つて二十円で買つて頂きましたよ。ゲーテの詩集の埋合わせをして頂いたようなもので。へへへへ……。

まったく御座いますよ。そのまま二円で買つて行かれたつて文句は御座いません。中江先生みたいなお方ばかりだったら、苦労は御座んせんが、タチの悪いお客もずいぶん御座いますよ。ソレア……一冊丸ごと立読みなんて図々しいのはシヨツチュウの事なんで、その又読み方の早いには驚きますよ。店の本の上に腰をかけて、足の下を吸すい殻がらだらけにしいしい一冊読んじやつてから、私の処へ持つて来て、

「オイ君。この本一円きり負からないのかい。大して面白い本でもないぜ」

なんて顔負けしちやいます。大きなお世話でサア……文科の生徒さんなんかは、試験前にチヨイチヨイ来て、アノ棚の上の大きなウエブスターの辞書だの大英百科全書エンサイクロペディアを抱え下して、入り用な字を引いちやつてから、そのまま置きつ放しぐらいは構いませんが、ノートに控えるのが面倒臭いんでしょう。その一頁をソツと破つて持つて行くんですから非道ひどうがすよ。よく聞いてみると大学校には修身てえ学科が無ねえんだそうで……呆れて物が云

えませんや。

もつと非道いのがありますよ。丸ごと本を持って行ってしまふんです。つまり万引ですね。しかもその万引の手段でえのが、トリック付きなんですから感心しちやいませあ。

自分で一冊か二冊、つまらない別の本を裸で抱えて、如何にも有閑学生か、有閑インテリらしい気分と面構^{つらがま}えで飄然と往来から這入つて来るんですね。最初から狙っている本はチャントきまつているんですが、直ぐにその本の処へ行くようなヘマは決してやりません。そこが手なんだろうと思うんですが、依然として風来坊を気取りながらアチコチと棚を見上げ見下して行く中^{うち}に、如何にも自然に狙った本へ近付いて行く。そこで不承不承のイヤイヤながらの事の序^{ついで}だといった恰好^{かっこう}で、その本の包装を引抜いて、気永く内容を読んでいるふりをしているんです。そうなるどこちだつてデパートの刑事さんじゃなし、最初から疑っているんじゃないやありませんから、ツイ眼を外^そらしてしまひますと、そこを狙っているんですね。つまらなさそうな顔をしてその本を棚に返す……と思つたら大間違いの豈計^{あほか}らんやでげす。返すと見えたのは包装のボール箱だけ……又は用意して来た、ほかの下らない本を詰めたりしてモトの隙間^{すきま}へ突込んで、入用な本^{やつ}はチャント脇の下に挟みながら……チエツ。碌^{ろく}な本は在りやがらねえ……といったような恰好で悠々とバツトの煙を輪

に吹きながら出て行くんだから大した度胸でげす。考えたもんですなあ。

ええ……それあ一時の出来心もありましようが、ズツト前からの出来心も御座いまいしよ。何しろ修身の無えね学校の生徒さんでゲスから油断も隙もあれあしません。コンナ手を矢鱈やたらに使われちややり切れませんや。

しかもソレが脛すねつ嘯かじりの学生さんばかりじゃ御座んせん。相当の月給を取っておいでになる修身の本家本元みたいな立派な紳士の方が、時々この手をお出しになるんですから驚きますよ。へへへ。大学の先生方もチョイチョイお見えになります。こつちの達人の方もおいでにならないじゃ御座んせんが、なかなか鮮やかなお手附のようです。へへへ。まさかお修身の代りに講レクチュア義で生徒さんに御伝授になる訳でも御座いますまいがね。どうもお手際が生徒さん達よりも水際立っているようです。第一御風采がお立派ですからマサカと思つてツイ油断しちまいますア。

もつともソんなのは大抵御本好きの方に限るようです。珍しい本だと思えば高価たかそうだし、欲しさは欲しし……店番のオヤジの面つらア間抜けに見えるし……てんで、相当お立派な御人格の方がツイ、フラフラとお遣りになるのが病み付きになってダンダン面白くなつて来る。そこんとこだけは良心が磨すり切れちやつてトテモ人間業わざとは思えないくらい大胆

巧妙になつておいでになるんですから、お相手を仰おおせつ付けられた本屋は叶いませんや。…
 …しかし有難いもので…何度もその手を喰つて慣れて参りますと大抵わかりますよ。ど
 うもあの人が臭いつてね。丁稚ていぢが云うものですから、氣を附けておりますと手口から何か
 らスツカリわかちまいます。しまいには入口からノツソリ這入つてお出でになる態度を
 見ただけでもアラカタ見当が附いて来ます。…サテはオヤリ遊ばすな…とか遊ばさな
 いナ…とかね。へへへ。

面白いのはその万引した本を、持つて歸つて読んでしまつてから、ソツと返しに来る人
 があるのです。御承知の通りこの頃の小説本と来たら、昔のエライ連中が書いたのと違つ
 て、一度読んじやつたら二度と読む氣になれないものが多いらしいんです。又は持つて歸
 つて読んでみると大した本でも珍らしい本でもなかつたらしいんですね。ですから何も良
 心に背反そむいてまで泥棒して来るほどのシロモノじゃなかつた…と思つて返しにお出でに
 なるんだか…それとも最初からチョツト借りて、中味の減らないようにソツと読んで、
 返して下さるおつもりだったのかどうだか、ソノ辺のところガコチラでは何とも見当が附
 きかねますがね。良心があるんだかないんだか、紳士的なんだか、超特級の泥棒根性なん
 だか…無賃乗車で行つて用を足して引返して来て、乗らない顔をしているみたいなもの

で、ややこしい心理状態もあればあるものですね。

へエへエそれあ、まったく返つて来ないのも随分ありますよ。そんなお顔はコチラでチャント存じておりますがね。そこが商売冥利つて奴で、黙つて知らん顔をしております。元値を考えたら大したもんじや御座んせんしね。シヨツチュウ気を付けてケースの中味が在るか無いか調べなくちゃならないのが面倒臭い位のもんでさ。そうして中味が変わっているか、抜けているかしている本の前に立つておられた方を、あの方、この方と思ひ出しているうちに、だんだんお人柄がわかつて参りますから不思議なモンで……この間コンナのがありましたよ。これは又物スゴイ、素敵な本でしたが……。

××医専の生徒さんが夏休みに持込んで御座った本だったと思ひますがね。御本人は××の××の方で、先祖代々から伝わつて来た聖書だと仰言つてね。一冊三円で頂戴いたしました、例の通り店番の片手間にここに座つてよく調べてみますと驚きましたね。チョット見ると活字みたいですが、一六二六年に英国で出来た筆写本なんです。紙が又大した紙でね。日本の百円札みたいなネットリした紙にミツチリと書詰めたもので、黒い線に青と赤の絵具を使った挿絵まで這入っているんですから、それだけでも大層な珍本でげしう。

ところがソレだけの事なら私も格別驚きません。金さえ出せば日本内地でも、相当にお眼にかかれるシロモノなんですが、肝を潰したのは、その聖書の文句でげす。あれが悪魔の聖書とでもいったものでしょうか……これこそ世界中にタツタ一冊しかないと噂に聞いたシュレーカーのBOOK OF DEVIL PRAYER（外道祈祷書）かと思うと私は気が遠くなつて、真夏の日中にガタガタ震え出したものでげす。

へエ……先生はソナ書物の事をお聞きにならない。へエ。そうですか。著者の名前はたしかデュツコ・シュレーカーと読むんだろうと思いましたがね。むずかしい綴りの名前でしたつけが……何でも百年ばかり前の事だそうですがね。有名な英国のロスチャイルドつてえ億万長者の二男でしたか三男でしたかが十万ポンドの懸賞付きで探したことがあるつてえ仲間の無駄話を、東京に居る時分に小耳に挟んでいるにはおりましたかね。マサカその実物に、お眼にかかろうたあ思いませんでしたよ。

へエ。表紙はズツト大型の黒い皮表紙なんです……HOLY・BIBLEと金文字の刻印が打込んであつて、牛だか馬だかわかりませんが、頑丈な生皮の包箱ケースに突込んであります。その包箱の見返しの中央にMICHAEL・SHIROと読める朱墨と、黒い墨の細かい組合わせ文字の紋章みたいなのが、消え消えに残っているところを見ますと、私のカンあつし

では多分天草一揆頃日本に渡つて来て、ミカエル四郎と名乗る日本人が秘蔵してたものじゃないか知らんと……へエへエ。その四郎が天草四郎だったらいよいよ大変ですがね。

へエへエむろんそうですとも。その学生さんは何も知らずに普通の聖書と思って売りに見えたに相違御座んせん。聖書なんてものは信心でもしない限り滅多に読んでみる気がしないものですし、その本を持ち伝えた先祖代々の人も、それがソナ本だつて事を云い伝える事も出来ずに、土蔵おくらの奥に仕舞い込んで御座つたんでげしよう。そいつをああつしの学生さんがホジクリ出して……何だコンナ物、売つチャエ。バアへでも行つちやえテンで、私の処を聞いて持込んでいらつしたものでしょう。聖書なんてものは、今の学生さんにはオヨソ苦手なもんですからね。中味をどこかの一行でも読んでたら持つて来る氣づかいありませんや。今頃はスツカリ悪魔になり切つちやつて学校なんか止しちやつて、桃色ギャングか何かでブタ箱にでもブチ込まれているでしょうよ。へへ……その学生さんの名前とお処はチャント控えておりますから、その中に××のお宅へお伺いしたらキットまだまだ面白い掘出し物があるに違いないと思つてこの二、三日ウズウズしているんですがね。へへ。

中味の読出しは、みんな細かい唐草模様の花文字で、途中のチャプタの切り工合から中

みだしなんかスツカリ真^{ほん}物の聖書の通りですし、創世記のブツ付けの四、五行ぐらいはヤツパリ本物の聖書の文句通りですから、誰でも一パイ喰わされるのですが、その四、五行目からの有り難い文句が、イキナリ区切りも何もなしに、トテモ恐ろしい文句に變つて来るのです。つまり悪魔の聖書と申しますか。外道祈祷書と申しますか。ソイツを作り出したシュレーカーっていう英国の僧侶^{ぼう}さんが、自分の信仰する悪魔の道を世界中に宣伝する文句になつていゝるんですね。昔風な英語ですからチョツト読み辛^づろうがしたよ。チョツト生意気に訳しかけてみた事もあるんですが、ザツトこんな風です。

「われ聖徒となりて父の業を継ぎ、神学を学^{うち}ぶ中に、聖書の内容に疑^{うたが}いを抱き、医薬化学の研究に転向してより、宇宙万有は物質の集団浮動に過ぎず。人間の精神なるものも亦、諸原素の化学作用に外ならざるを知り、従つて宗教、もしくは信仰なるものが、その出発点よりして甚だしく卑怯なる智者の、愚者に対する瞞着、詐欺取財手段なるを認め、地上に於て最真実なるものは唯一つ、血も涙も、良心も、信仰もなき科学の精神を精神とする所謂、悪魔精神なる事を信じて疑わざるに到れり。わが生まれいでし心は親兄弟、もしくは羅馬^{ローマ}法皇が自分のために都合よく作り出せる所謂『神の心』には非^{あら}ず。生前の神罰、死後の地獄また在ることなし。何をか恐れ、何をか憚^{はば}らんや。

歴代の羅馬法皇、その他の覇者は皆この悪魔道の礼讃実行者なり。万人の翹望する上流階級の特権なるものは皆この悪魔道に關する特権に外ならず。人類の日常祈るところの核心は皆、この外道精神の満足に他ならず。強者は聖書を以て弱者を瞞着し、科学の教うるどころの悪魔の力を恣にして恥じざらむとす。

全世界の人類よ。皆、虚偽の聖書を棄てて、この真実の外道祈禱書を抱け。われは悪魔道のキリストなり。弱き者。貧しき者。悲しむ者は皆吾に従え」

といったような熱烈な調子で、人類全般に、あらゆる悪事をすすめる文句がノベタラに書いて御座います。私はそれを読んで行くうちに、自分の首を絞られるような気持になつてしまいましたよ。西洋には血も涙もない悪党が多い。生胆取りだの死人使い、奴隷売買、人殺し請負いナンテものは西洋人でなくちや出来ない仕事だと聞いておりましたがマツタクその通りだと思いましたナ。

その耶蘇教の僧侶さんは多分、精神異状者か何かだったのでしよう。そんなつもりで、世界中を悪党だらけにするつもりで、一生懸命に書いたらしく、この世界が「悪」ばっかりで固まっている世界だ……神様なんてものは唯、悪魔の手伝いに出て来た位のもんだつていう事を、出来るだけ念入りに説明しているんです。

「神は弱者のためにのみ存在し、弱者は強者のためにのみ汗水を流し、強者は又、悪魔のためにのみ生存せるもの也」

「世界の最初には物質あり。物質以外には何物もなし。物質は欲望と共に在り。欲望は又、悪魔と共に在り。欲望、物質は悪魔の生れ代り也。故に物質と欲望に最忠実なるものは強者となり悪魔となりて榮え、物質と欲望とを最も軽蔑する者は弱者となり、神となりて亡ぶ。故に神と良心を無視し、黄金と肉慾を崇拜する者は地上の強者也。支配者也」

「強者、支配者は地上の錬金術師也。彼等の手を触るる者は悉く黄金となり、黄金となす能わざるものは悉く灰となる」

「黄金を作る者は地上の悪魔也。彼等の触るる異性は悉く肉慾の奴隸と化し、肉慾の奴隸と化し能わざる異性は悉く血泥と化する」

というようなアンバイです。

ですからこの悪魔の聖書では、旧約の処が「人類悪」の発達史みたいになっておりましてね。アダムとイブが、神様を信心し過ぎて肉慾を軽蔑している間は、子供が生まれなかつた。それから蛇によつて象徴された執念深い肉慾に二人が囚われて、信仰をなくしちゃつて、エデンの花園を逐われてから、お互いの裸体が恥かしくなつたお蔭で、子供がドン

ドン生まれ初めてこの地上に繁殖し初めたんだから、トドのつまりこの地上で栄えるものはエホバの神の御心じゃない。悪魔の心でなくちやならん……といったような理窟で、人類の罪悪史みたような事が、それからジャンジャン書立ててあるのです。

……エジプトの王様は代々、自分の妻を一晚毎ごとに取換えて、飽きた女を火焙ひあぶりにして太陽神に捧げたり、又は生きたままナイル河の水神様の鱔うなぎに喰わせたりするのを無上の栄華として楽しんでいた。

……ペルシャ王ダリオスの戦争の目的は領土でもなければ名誉でもない。捕虜にして来た敵国の女に対する淫虐と、敵国の男性に対する虐殺の楽しみ以外の何もなかった。彼は戦争に勝つ毎ごとに、宮殿の壁や廊下を数万の敵兵の新しい虐殺屍体で飾りその中で敵国の妃や王女を初め、数千の女性の悲鳴を聞いて楽しんだ。そこにダリオスは世界最高の悪魔的文明を感じたのであった。

アレキサンドル
…… 亜歴山大王はアラビヤ人を亡ぼすために、黒死病患者の屍体を荷かついだ人夫を連れて行つて、メツカの町の辻々でその人夫を一人ずつ斬倒きりたおさせた。これはその極端な悪魔的な精神に於て、近代の戦争のやり口をリードしているのみならず、遙かにソナナものを超越した偉いところがあった。流石さすがは大王というよりほかなかったものである。

……露西亞の彼得大帝は、和蘭オランダに行つて造船術を習つたと歴史に書いてあるが、これは真赤な偽りで、實際は墮胎術と、毒藥の製法を研究に行つたのだ。彼得大帝は、そうして得た魔力でもつて露西亞の宮廷を支配して、あれだけの勢力を得たもので、大帝の属するスラブ人種が、六十幾つの人種を統一して、大露西亞帝国を作つたのも、こうした大帝から魔力を授かつたスラブ族の科学智識のお蔭でしかないのだ。

……こんな調子で世界を支配するものは神様でなくてイツモ悪魔であつた。一切の科学の初まりは神様の存在を否定し、人間をその良心から解放するのが目的で、同時に一切の化学の初まりは鍊金術であり、一切の医術の初まりは墮胎術と毒藥の研究でしかなかつたのである。

……吾々は歴史に欺あざむかれてはならない。常に悪魔的な正しい目で歴史を読んで行かないと飛んでもない間違いに陥ることがある。元来ユダヤ人というものは人類の全部をナマケモノにしてコツソリと亡ぼしてしまつて、ユダヤ人だけで世界を占領してしまおうと思つて、昔から心掛けて来た人種だ。骰さいころ子さいころだのルーレットだのトランプだの将棋だのドミノだのいうものは、そんな目的のために猶太人が考え出して世界中に教え拵めたものである。しかもその猶太人が、そんな目的のために発明して世界中に宣伝しようところをみた

最後のものがこの基督教キリストなのだから、呆れてモノが云えないではないか。

……「この世の中の事は何もかも神様の思おぼしめし召おほしめしばかりだ。神様に祈ってさえいれば、欲しいものは何でも下さるのだから、人間はチツトモ働かなくていいのだ。神様を信ずれば盲目が見え、唾が物を云い、蹩おぼしめしが駆け出すのだ。天を飛ぶ鳥を見よ。地を走る狐を見よ。明日の事なんか考えなくともチャンと生きて行けるじゃないか」といったアンバイ式に宣伝して世界中をみんななま懶け者にしまおうと思つて発明したのがこの基督教なんだ。

……そこでその当時ユダヤでも一番の名優であつたヨハネという爺さんを雇つて来て、この基督教のチンドン屋をやらせてみたがドウモウまいこと行かない。そこでその次に出て来たユダヤでも第一等の美男子のイエスという男優と、ユダヤ第一の美しい女優のマリアというのを取組ませて、この宣伝を街頭でやらせてみたらコイツが大々的に大当りを取る事になった。

(三十行削除)

……といったような調子で旧約聖書の文句が済みますと今度は新約でゲス。

……つまりそのデユツコつていう僧侶が聖書の中で基督に成り代つて云うのです。

「吾は悪魔の救世主なり。皆吾に従え」つてんで自分が先祖代々から受け伝えて来た悪魔

の血すじを、系図みたいに書並べたのがソノ新約の書出しなんで、それから自分が虫も殺さぬ宣教師となつて明暮れ神の道を説きながら、内心では悪魔の道を信仰して、女を殺したり、金を捲上げたりして来た恐ろしい悪事の数々を各章に分けてサモサモ勿^{もつたい}体らしく書立ててあるのです。人間は神様と良心を蹴飛ばしちまえばドンナ幸福でも得られる。自分の師と仰ぐものはイエス・クリストじゃない、悪魔に魂を売った独逸の魔法使いフアウストだつてんで、ありとあらゆる科学的な悪事のやり方が、自分の体験と一緒に、それ相^あ当の悪魔式のお説教を添えて書いてあります。

(四十七行削除)

それから一番おしまいの詩篇のところへ来ると、極端な恋歌ばかりですね。それもマトモな恋の歌なんか一つもないので、邪道の恋、外道の恋みたいなものを讚美した歌ばかりなんで呆れ返つたワイ本なんですがね……ヘエ……。

ナ……何ですか……その本がどこに在るかつて仰言るんですか……へへへ。それが又面白いです。

今も申します通り、その聖書は、ちよつと見たところ、古い木版みたいな字の恰好ですからね。蔵^{しま}つておいたつて仕様がななし、そうかといつてウツカリ気心の知れないところ

に持つて行つてお勧めする訳にも行きませんからね。困つちやつて、ボックスか何かの古い皮革かわのケースに入れたまんま向うの棚の片隅に置いといたんです。それを見つけたお客様のお顔色次第で千円ぐらゐは吹っかけてもアンマリ罰は当るめえ……と思つていた訳ですが……普通の聖書にしてもソレ位のねうちはあるんですからね。

ところがこの三月ばかり前のことです。驚きましたよ。いつの間にシテヤラれたものですか、その聖書の中味がスツポ抜かれちやつて、箱ケースだけがあそこの棚の隅に残つていゝのを発見しちやつたんです。

あそこは店の中でも一番暗い処で、私が珍本あつしと思つた本だけをソーツと固めて置いとく処ですからね。あそこに来てジイツと突立つておいでになる方はイツモ大抵きまつていゝんですからね。持つてお出でになつた方もアラカタ見当が……。

オヤツ……先生のお顔色はドウなすつたんです。御気分でもお悪いんですか……ヘエ。ヘエツ……これは三百円のお金……今月のお月給の全部……私あつしに下さるんで……ヘエツ……あの聖書のお手付け……千円の内金と仰言るんで……これはどうも恐れ入りましたナ。あの本は先生がお持ちになつたんで……ヘエ。それはドウモ何ともハヤ……ヘエヘエ……何と仰言る……。

へエエ……今年の春から先生の奥様にピアノを教えにお出でになっている音楽学校出の若いピアノニストの方が、あの本を偶然に御覧になって、大変に珍しがって借りておいでになった。先生もその時までには普通の聖書と思つて何の気もなくお貸しになった。へエへエツ……ド……ドツ……どうぞお落付きになって……お落付きになって……お静かに……お静かに……御ゆっくりお話し下さいまし……ナナ……なる程。へエへエ。

それから一週間ばかり経つて、奥様が流産をなすつた……妊娠三箇月で……成る程。お医者様の御診察ではその前にお二人で××にドライブをなすつたのが悪かつた……ナル程。あの国道はこの頃悪くなりましたな。無理は御座んせんよ。自動車^{やたら}が殖^ふえましたから。県の土木費はモトの通りなのに……まだある。へエ……。

タツタお一人のお坊ちゃん^が、牛乳ばかりで育てておいでになったのが、四、五日前に急にお亡くなりになった。食餌中毒という診断だが、怪しいと仰言るんで……へエ。ドウ怪しいんで……へエ。あの本を借りて行かれたピアノの教師^{せんせい}が、あの本の中の毒薬を使つてゐるに違ひない。この頃、貴方様も胃のお工合が宜しくない。胃がシクシクお痛みになる。×××××、×××××かも知れない。へエ。つまり貴方様はズツト前からそのピアノの教師^{せんせい}を疑つておいでになつたんですね。成る程。そのピアノの教師は芸術家気取の

ノツペリした青年……奥様は二度目の奥様で、大阪新聞の美人投票で一等賞……アツ……。
ワ——ツ……先生ツ。チョコットお待ち下さい。チョコットお待ち下さい。いいえ
放しませぬ。チョコットお待ち下さい。血相をお変えになつてどこへお出でになるんで……
ナ何ですつて……。そのピアノ教師せんせいをお訴えになる。あの本を取返して使つた毒薬を發
見してやる……ま……ま……待つて下さい。……ト……飛んでもない事です。まあお聴き
下さい。落ち付いて……とにかくここへ今一度おかけ下さい。私のお話をお聞き下さい。
御事情は私が見貫あつし みぬいております。事件の真相は私がチャンと存じておりますから、残らず
お話し致しますよう。急せいてはいけません。短気は損気です……ああビックリした……。
飛んでもない事ですよ先生、ソレは……。もし先生がソナ事ななされますとあの本を
どこから手に入れたという事が、警察でキット問題になりますよ。その時に私が警察へ呼
ばれまして正直のところを申立てましたら、先生の御身分は一体どうなるんですか。
ハハハ。それ御覧なさい。まあまあモウ一度ここへお掛け下さい。このお茶の熱いところ
を一服めし上つて下さい。私あつしが何もかもネタを割つてお話し致します。モトを申します
と何もかも私あつしが悪いのです。

ソ……ソナにビックリなさることは御座いません。コレ……この通りお詫びを申上げ

ます。何もかも私が悪いので御座います。へエへエ。この通りアヤマります。どうぞ御勘弁を……。

何をお隠し申しましょう……只今まで私がお話致しました事は、みんなヨタなんです。出鱈目でたらめなんです。根も葉もない作り話なんでゲス。ハハハ。吃驚びつくりなさいましたか。ハハハ……。

あの御本はヤツパリ普通の聖書なんです。もちろん一六八〇年度の英国の筆写本なんでゲスから相当の珍本には間違い御座んせん。三百両ぐらいの価値ねうちは確かだ御座います。がトテモ千両なんて踏めるシロモノじゃ御座んせん。御自身で読んで御覧になれあ、おわかりになります。初めからおしまいまで普通の聖書の通りの文句で、一字一字毎ごとに狂いのないところを見ますと、よつぽど信仰の深い僧侶ほうさんが三拝九拝しながら写したもんですね。とにかく滅多に出て来つこない珍本ですからドウゾお大切に御座います。お譲り致しますよ。こうしてお代金を頂戴いたしましたからには、惜しゅうは御座いますが、お譲り致します。

実は先生が、大学でも有名な御本集めの名人でおいでになる事を、法文科の中江先生からズット以前に伺っておりました。今度、〇〇科へ本集めの名人が来たぜ。あの男は東京に居る時分から俺の好敵手で、どうして集めるんだか判らないが、俺の狙っている本かを片

端たはしから浚さらつて行つてしまいやがる。あの男が来ると俺の道楽は上つたりだ……つてね。よくソウ仰言つておられましたよ。

……ですから実はソノ……へへへ。先生があの本をお持ちになつた時も私あつしはよく存じておりましたからね。その中うちに奥様うちにでもお代を頂戴に行こうかと思つておりますところへ、今日ヒヨツクリ先生がお見えになる……トタンに今の夕立で御座いましょう。店には格別お珍しいものも御座んせんし、先生も雨上りをお待ちになつておいでになる御様子ですし、私あつしも朝から店に座つていてすこし頭がボンヤリして来たようですから、ツイ退屈しゆ凌しのぎに根も葉もないヨタ話を一席伺いました訳で……若い中うちにナマジツカな学問をしたり寄席へ出たり致しました者は、ツイ余計なお喋しゃべりが出て参りますようで……ヤクザな学問ほど溢あふれ出したがるようでへへへ。……へエへエやっぱりコウして書物の中に埋まつておりましても探偵小説が一番面白いようで……まったく御座います。どうかするとツイ探偵小説を地で行つてみたいような氣にフラフラツとなりますから妙なもんで……へエ。思いもかけませぬお代を頂戴致しまして恐れ入りました。全く根も葉もない作り事を申上げまして、御心配をおかけ申しました段は、幾重にも御勘弁を……。

へエ。モウ降り止んだよう御座います。だいぶ明るくなつて参りました。明日はお天

気になりましょう。

へい。御退屈様。毎度ありがとうございます。ドウゾ奥様をお大事に……。

青空文庫情報

底本：「夢野久作怪奇幻想傑作選 あやかしの鼓」角川ホラー文庫、角川書店

1998（平成10）年4月10日初版発行

初出：「サンデー毎日特別号」

1936（昭和11）年3月

入力：林裕司

校正：浜野智

1998年11月10日公開

2019年4月27日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

悪魔祈禱書

夢野久作

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>